

「量」と「質」

例えば、初めてやるスポーツを考えてみよう。

テレビなどでプロの選手のプレーをじっくり見て、やり方を理解したとする。

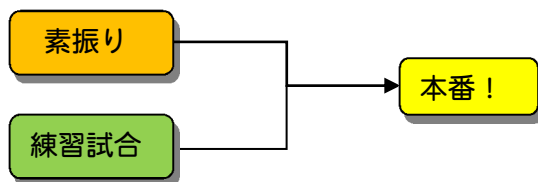
しかしながら、それだけで、すぐ自分が試合で勝てるであろうか。

勝てるわけではない。

決して、やり方を理解しても、人間、出来るわけではないのである

まずは、素振りなどの基本演習からである。

そうして、基本が固まった後、練習試合などの実戦演習を経て、本番で勝てるのである。



競技にもよるが、プロで成功している人ほど、素振りなどの基本を大事にするという。

また、実戦演習も無くして成功はできまい。

武器の使い方を教わっただけで、戦いに勝てるだろうか。

すぐに死んでしまうだろう。

数学も同じである。基本演習(反復練習)と実戦演習(応用力)の両方が必要なのである。

そのどちらが欠けても成功しないのである。

伸び悩んでいるときは、そのどちらかが足りないのである。

ここで注意することは、

- ・ 基本演習では「量>質」かつ「スピードアップを図る」こと
- ・ 実戦演習では「量<質」かつ「なぜそうするのか(なぜ他のやり方はしないのか)と理由を考える」こと

である。

